

はじめに	ii
目次	iv
凡例	vii

## 第1章 人文社会科学系の情報探索

1.1 人文社会科学系の情報探索	2
1.1.1 研究のプロセスと情報探索	2
1.1.2 人文社会科学系における情報探索の特徴	6
1.2 情報探索の手法	8
1.2.1 情報探索の基礎の復習	8
1.2.2 専門的な資料の探索	10
1.2.3 情報の信頼性	10
1.2.4 より深く広く探索をするために	11

## 第2章 基本情報・先行研究を調べる

2.1 人文社会科学系の基本情報と先行研究	14
2.1.1 ツールを選ぶ	15
2.1.2 人文社会科学系の電子ジャーナルと冊子体	17
2.2 人文社会科学全般の情報を探す	19
2.2.1 基本的な情報を調べる	19
2.2.2 日本語の学術論文を探す	27
2.2.3 外国語の学術論文を探す	36
2.2.4 学位論文を探す	54
2.2.5 学会情報を探す	58
2.2.6 科学研究費補助金研究成果報告書を探す	60
2.2.7 新聞を探す	62
2.2.8 一般雑誌の記事を探す	69
2.3 文学	78
2.3.1 基本的な事項を調べるツール	78
2.3.2 国文学論文目録データベース	80
2.3.3 東洋学文献類目	82
2.3.4 MLA International Bibliography	84
2.3.5 PsycINFO	86
2.4 教育学	88

2.4.1	基本的な事項を調べるツール	88
2.4.2	教育研究論文索引検索	89
2.4.3	ERIC	92
2.4.4	その他のツール	95
2.5	法学	96
2.5.1	基本的な事項を調べるツール	96
2.5.2	法律判例文献情報	99
2.5.3	Lexis.com	100
2.5.4	その他のツール	101
2.6	経済学	104
2.6.1	基本的な事項を調べるツール	104
2.6.2	アジア経済研究所OPAC	106
2.6.3	経済学文献索引データベース	108
2.6.4	EconLit	110

### 第3章 原資料にあたる

3.1	原資料概説	114
3.1.1	原資料の探索にあたって	114
3.1.2	書誌情報を読む	118
3.1.3	所蔵場所を突き止める	124
3.2	原資料にあたる—人文科学編	136
3.2.1	古典資料	136
3.2.2	考古学関係資料	152
3.2.3	郷土資料	156
3.2.4	美学・美術史関係資料	158
3.3	原資料にあたる—社会科学編	164
3.3.1	法令	164
3.3.2	議会資料	173
3.3.3	判例	190
3.3.4	公文書	202
3.3.5	統計	209
3.3.6	白書	216
3.3.7	経済・経営情報	220
3.3.8	国際連合・欧州連合	229
3.4	原資料にあたる—図書館コレクションの活用	240
3.4.1	東北大学附属図書館のコレクション	240
3.4.2	その他の図書館のコレクション	260

## ツール集

凡例	266
全般	267
文学	276
教育学	286
法学	288
経済	295

## 付録

1 学会での研究発表	300
2 論文を執筆する	305
3 参考文献の扱い	309
4 古本の探し方	313
5 外国語略語集	319
6 文献管理ソフト	323
7 相互利用サービス	326
8 キャンパスマップ	328
9 フロアマップ	329
10 利用案内	334

索引	337
あとがき	350

## コラム欄目次 ■みみふくろ

・書評の利用	12	・ツールの併用	76
・雑誌の復刻版	18	・四部分類法とは	151
・事典の記述の変化	20	・考古学と地域雑誌	155
・辞典のように使える全集	26	・官報について	166
・雑誌の所蔵情報を読む	31	・外国語のシャワーを浴びよう!	219
・GeNii(ジーニィ)とは	35	・駐日事務所のウェブサイト	238
・学位論文の複写	55	・古文書と家文書	248

## ■図書館の小ネタ

・漱石文庫と仙台(その1)	77	・政治状況と図書館コレクション	239
・漱石文庫と仙台(その2)	112	・図書の書き込み	264
・香しき図書館	163		

## 凡例

本文中に箇条書きしている図書、雑誌、CD-ROM、オンラインデータベースなどのツールについて、記載書式はおおむね次のとおりとした。

- 『書名・誌名など』（叢書名） 巻号・版・内容収録年など 著編者 出版者 出版年 : 学内配置場所 [請求記号]
- 『ウェブサイト名など』 提供機関名 <URL>

注1) 年表示について、最新巻を継続して購入している資料は、終年を省略して記した。(例: 1999～ ) また、資料の特徴として、最新内容が重要だと考えられる資料については所蔵年すべてを記さず、最新巻のみを記した。

注2) 学内配置場所は、附属図書館内の場所を省略形によって記した。省略形に対応する配置場所はそれぞれ以下のとおりである。なお、「本館学閲」および「本館書庫」の後に続く「参考」「旧片平」などは、本館学閲や本館書庫の中の所定のコーナーを示している。

省略形	配置場所	省略形	配置場所
本館 RC	本館レファレンスコーナー	工分	工学分館
本館学閲	本館学生閲覧室	農分	農学分館
本館書庫	本館書庫	教育図書室	教育学研究科図書室
本館経済統計	本館研究閲覧室 経済統計	法図書室	法学研究科図書室
医分	医学分館	法政実務図書室	法学研究科法政実務図書室
北分	北青葉山分館	経済図書室	経済学研究科図書室

注3) 本書の姉妹編である『情報探索の基礎知識. 基本編』を参照する際は『基本編』とした。

本書は2007年3月現在の状況をもとに記した。最新のツールや情報探索環境については、東北大学附属図書館ホームページを参照のこと。

URL: <http://www.library.tohoku.ac.jp/>